

(個人)

(報告 田 中)

山(山域・ルート) 空木岳(中央アルプス・池山尾根コース)

【日時】23年 9月7日(水)(泊 1日)

【メンバー】

田 中 (計 1名)

【行動記録】

自宅0時発一川島I. C-八王子J
CT-駒ヶ根I. C-池山尾根登山口
(3:48着-5:30発)-マセナ
ギ(7:45)-非難小屋分岐(9:
39)-空木岳(11:01-11:
17)-分岐(12:23)-池山林
道終点P(15:58)駒ヶ根高原泊
上り5時間30分 下り4時間40分

【装備・食料等】

携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、ツエルト

水(2.5リットル)、食事(朝・昼食)、行動食

【感想】

空木岳日帰りは厳しいと聞いていたが、木曾殿山荘の印象が今一なので、日の出と共に出発することで挑戦をしてみた。6時間で山頂に着かない時は途中断念も考えていた。唐松林の遊歩道から始まり、栈橋、はしご、鎖場が続く迷い尾根を越え、4時間も歩くと、花崗岩峰の山頂が快晴の下、いくつかのピークの向こうに見えてきた。ハイマツと砂礫の稜線を、駒石を始め人工的に組立てられたような花崗岩のオブジェを楽しみながら進むと、やがて頂上に着く。山頂からは360度の眺望で、御嶽、木曾駒、八ヶ岳、南アルプスの山々、富士まで見える。じっとしていると、それまで涼しいと感じていた風が冷たい。食事をしながら、展望を楽しむと早めの下山に着く。週の半ばでガラガラと思っていた山行も人気の山のせいか、人も多い。なかでも、大学生と思われるカップルが大きなザックを担いで、ゆっくり歩いている姿に行き帰り出会った。前日に新池山小屋、この日は非難小屋泊まりと言う。自炊をしながら、自然の中でお互いを確かめ合えれば、将来、悔やむことはないのだろうと思った。下りは、ビールと温泉を頭に浮かべて長い道をひたすらと・・・。

空木岳(標高2,864m)

